

## 医療情報の理解促進に関する研修会 平成23～28年度(案)

開催日時	内容	講師	場所	人数(実績)	
23年度 2月8日(水) 13時半～16時半	■地域における脳卒中对応～関係機関の連携と患者・家族の理解～			218名	
	①急性期対応医療機関における取組(40分)	武蔵野赤十字病院 医療連携センター 横見弥世衣 氏	都民ホール (定員250名)		
	②回復期対応医療機関における取組(40分)	武蔵野陽和会病院 医療福祉相談室長 服部 健一 氏			
③地域包括支援センターにおける取組(50分)	武蔵野市 健康福祉部高齢者支援課 課長補佐 伊藤真由美 氏				
24年度 ①11月7日(水) 14時～16時半	■基調講演「いま、医療機関に求められること ～医療制度の現状と課題～」(50分)	国際医療福祉大学大学院 教授 池田俊也 氏	都民ホール (定員250名)	264名	
	■患者と医療従事者とのコミュニケーションの向上				
	①講演「患者側とのギャップをなくし、よりよい医療の提供を！」	消費生活アドバイザー 坂本 憲枝 氏			
	②講演「患者・家族とのパートナーシップ強化に向けた取組」	東京厚生年金病院 医療安全管理室 医療安全管理者 松浦 真理子 氏			
	②2月13日(水) 13時半～16時半	■東京都保健医療計画の第5次改定案のポイント			東京都社会福祉保健 医療研修センター講堂 (定員300名)
		①基調講演「東京都の保健・医療における今後の方向について」(80分)	東京医科歯科大学大学院 教授 河原和夫 氏		
②精神疾患医療の取組		東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課長			
③認知症対策の取組		高齢社会対策部在宅支援課長			
④在宅療養の取組		東京都福祉保健局医療政策部地域医療担当課長			
⑤医療情報の理解促進の取組					
25年度 ①11月1日(金) 14時～17時	■医療従事者に知ってほしい介護の知識		東京都健康プラザ 「ハイジア」研修室 (定員120名)	118名	
	①患者の説明に役立つ介護の知識(70分)	社会福祉法人慈生会 慈生会中野ケアプランセンター管理者 西本裕子 氏			
	②医療と福祉の連携(70分)	武蔵野市 健康福祉部地域支援課 課長補佐 伊藤真由美 氏			
②2月12日(水) 14時～17時	■医療コミュニケーション～患者・家族と医療者の良い関係～(130分)	奈良県立医科大学健康政策医学講座 助教 岡本左和子 氏	都民ホール (定員250名)	217名	
26年度 ①10月9日(木) 14時～17時	■患者の目線で考える医療コミュニケーション		都民ホール	247名	
	①相談から見える患者のキモチ(60分)	医療政策部医療安全課指導係主任			
	②患者・家族の理解と納得につながるコミュニケーション(85分)	東京SP(模擬患者)研究会 代表 佐伯 晴子 氏			
	②2月13日(金) 14時～17時	■医療従事者に知ってほしい認知症ケアとコミュニケーション			東京都健康プラザ 「ハイジア」研修室 (定員120名)
①東京都の認知症施策について(50分)		東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課長			
②認知症の人とのコミュニケーション(80分)		独立行政法人東京都健康長寿医療センター 看護部看護師長 白取 絹恵 氏			
27年度 ①11月25日(水) 15時～17時	■患者・家族との対話の進め方～トラブルにならないために～		東京都健康プラザ 「ハイジア」研修室	134名	
	○医療メディエーションを活用したコミュニケーションスキル	全国土木建築国民健康保険組合 総合病院 厚生中央病院 院長補佐 荒神 裕之 氏			
②1月28日(木) 14時半～17時	■患者とのコミュニケーション術		都民ホール	199名	
○わかりやすい説明の仕方～患者の立場から～	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子 氏				
28年度 (案) 2月(予定)	■クレーム対応術～医療機関に対するクレームと対応方法～		都民ホール	定員250名	
	【テーマ選定理由】 研修会受講者にアンケートを実施した際、クレームに関するテーマを取り上げてほしいという要望が多く挙げられた。そこで、クレームにスムーズに対応するための方法や、受付から診療までに起こり得る不当要求、クレマーの特徴、クレームが発生する原因等、医療機関特有のクレームについて焦点を当てた内容を取り上げる。	調整中			